学校番号	3010

令和5年度 工業（インテリアデザイン） 科

教科	工業	科目	造形基礎	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造形基礎インテリアの授業では、造形やデザインに関わる作品制作の技術向上を目指し、作品制作を通して素描、色彩、立体の構成を学び、デザインにおける適切な材料・技術を選択した上で今後の作品制作に利活用することができるよう学習し、「観察する力」「表現する力」を身に付けることを目指します。

履修条件

なし

2　学習の到達目標

・造形の基礎やデザインの基礎を学び工業製品などに適用されるデザインの視点で捉える。
・デッサンや色彩構成、立体構成の様々な技法について身に付け、作品制作を行う。
・基礎力と応用力を身に付け作品制作に主体的に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造形の基礎（鉛筆デッサン、色彩構成、立体構成）を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	造形の基礎（鉛筆デッサン、色彩構成、立体構成）に関する課題を発見し、デザインに携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う	造形の基礎（鉛筆デッサン、色彩構成、立体構成）に関する広い視野をもつことをめざして自ら学び、デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	造形の基礎①	・鉛筆デッサン 器物のデッサン 校内スケッチ 人物クロッキー ・色彩構成 平面分割構成 イメージ表現 ・立体構成 線材、面材、 塊材による構成　他	a：造形に必要な基礎的な知識・技術を身に付け安全に作業を進めることができる。 b：素描、色彩構成、立体構成に関する課題を見いだすとともに構想を立て、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善しようとしている。 c：主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等
2	造形の基礎②	・鉛筆デッサン 器物のデッサン 校内スケッチ 人物クロッキー ・色彩構成 平面分割構成 イメージ表現 ・立体構成 線材、面材、 塊材による構成　他	a：造形に必要な基礎的な知識・技術を身に付け安全に作業を進めることができる。 b：素描、色彩構成、立体構成に関する課題を見いだすとともに構想を立て、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善しようとしている。 c：主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等
3	造形の基礎③	・鉛筆デッサン 器物のデッサン 校内スケッチ 人物クロッキー ・色彩構成 平面分割構成 イメージ表現 ・立体構成 線材、面材、 塊材による構成　他	a：造形に必要な基礎的な知識・技術を身に付け安全に作業を進めることができる。 b：素描、色彩構成、立体構成に関する課題を見いだすとともに構想を立て、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善しようとしている。 c：主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度